

令和5年 第1回 日本咬合学会 臨床研修・認定セミナー

全身健康を考えた進化する最新丸山咬合医療
—咬合から認知症の予防・アンチエイジング・免疫向上の獲得—



丸山剛郎大阪大学名誉教授
日本咬合臨床研究所所長

日時: 令和5年9月18日(月、祝)午前9時30分から午後4時まで
会場: 都市センターホテル7階(703会議室)
東京都千代田区平河町2-4-1 Tel 03(3265)8211

今年度第1回臨床研修認定セミナーが、都市センターホテルにて開催されます。

丸山咬合医療は身体と心の健康の改善から、認知症の予防、アンチエイジング、免疫向上にまで及び、丸山剛郎先生の提唱する21世紀の新しい歯科医学・医療で着々とそのエビデンスを重ね、ますます注目されています。この事実は、丸山剛郎大阪大学名誉教授と澤口俊之武蔵野学院大学院教授との共同研究により、咬合医療で脳全体の活動部位の変化(効率化・活性化)等から証明されています。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、新たな日常が始まりました。依然として、ウィズコロナでの講演会開催、また第27回学術大会直前でもあり対面セミナー形式とWebでの同時配信の形式をとり、いずれかの方法で御参加いただけるようにしております。

尚、このセミナーを受講し日本咬合学会に入会していただきますと、日本咬合学会認定医の資格が得られ、さらなる研修で日本咬合学会専門医資格習得も可能です。

『セミナー内容』

●午前の部 講師：丸山剛郎大阪大学名誉教授

毎月開催されているセミナーで、次々と新たな事実が発掘され、分析、理論化されている丸山咬合医療は、さらに進化しています。臨床においての咬合と症状のつながりの診断法など、その基本的な考え方と習得への近道をご講演して頂きます。

●午後の部 東日本、西日本部会会員からの質問に質疑応答 講師：丸山剛郎大阪大学名誉教授

- 1, 咬合平面の決め方、ナソロジーと臨床生理咬合での相違点 戸栗和慶
- 2, 下顎偏位に上顎歯槽骨形態が影響されるように、左右咀嚼運動相違が上顎歯槽骨形態異常を引き起こすのか 戸栗和慶
- 3, 主訴は、顔のゆがみ 30 歳女性、筋力が強すぎてキネシオロジーの診断ができない 佐藤孝
- 4, 右側の顎の痛み、左側臼歯部は咬合、右側はすいている。顎関節内の状況はどのようになっているのか 栗本慎二
- 5, 噛み合わせが悪く、主訴が変わり長い、なにを主訴とすればいいのか 佐藤由紀子
- 6, 10~12 歳MFA 治療後のメンテナンスと装着期間について 栗本武俊
- 7, MFA 治療で症状は改善してきたが、寝つきが悪いという主訴が残った。治療の進め方。 塚原隆
- 8, くいしばりは、前後的問題か側方的問題なのか。治療の進め方。 塚原隆
- 9, 不眠の訴えが強い患者さんは、どのような咬合、歯列の異常が影響するのか 宮原光春
- 10, 義歯のリシェイピングした場合、異常咀嚼経路が正常咀嚼経路へ戻る時間について 宮原光春
- 11, MFA を入れれば入れるほど、外すと咀嚼できない。咀嚼リシェイピングを先にしてよいか 瀬尾修一
- 12, 明らかに形態異常が認められないのに左の咬合が高いと訴える患者さんに、どのように説明したらいいのか 戸栗和慶
- 13, 上・下無歯顎者の旧義歯がない場合の前後、左右を考えた咬合高径の考え方 椎木雅和 (敬称略)

●受講料 / 非会員 歯科医師・技工士・衛生士・スタッフ 10,000 円 (会長 青木隆典・嶋崎和義・戸栗和慶)
学会会員 歯科医師 20,000 円 (認定委員長・戸栗和慶)
技工士 10,000 円
衛生士・スタッフ 10,000 円

●お振込先 / 紀陽銀行 岩出支店 普通口座：1111706 口座名：日本咬合学会 会計 青木隆典
主催 NPO 法人 日本咬合学会

NPO 法人日本咬合学会第2回認定セミナー申込書

ふりがな		<input type="checkbox"/> 会員	<input type="checkbox"/> 歯科医師	ふりがな		TEL	
氏名		<input type="checkbox"/> 非会員	<input type="checkbox"/> 技工士	勤務先		FAX	
住所 〒			<input type="checkbox"/> スタッフ			E-mail	
参加形式	会場参加 ・ リモート参加	会場参加の場合の昼食		必要 ・ 不要			

申込み・問合せ先 戸栗歯科医院 〒185-0011 東京都国分寺市本多2丁目14-28 TEL : 042-325-6682
メールアドレス : ktoguri@coral.ocn.ne.jp

※可能な限り記載事項をメールでお申込みください。

かみ合わせの咬合医療セミナー